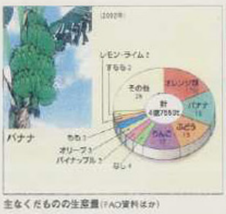
原　文

人と作物とのかかわり

人の歴史は，"毎日食べつづけてきた歴史"でもあります。そのため，人は，作物を作る農業に多くの力をそそぎ，たくさんの種類の作物を生み出してきました。そこで人と作物とのかかわりについて調べてみました。



主なくだものの生産量（FAO資料による）

バナナの収穫（ケニア）

バナナが主食！

世界ではさまざまな作物が作られていますが，主食となる作物は，地域によってさまざまです。

日本では米が主食となっていますが，バナナを煮たり焼いたりして，主食として食べている地域もあります。

ヤムいもやタロいもから取り出したでんぷんや，とうもろこしを粉にしてつくったパンを主食にしている地域もあります。

もともとバナナには種があって食べにくかったんじゃが，こうぜん生まれた種なしバナナを人が育て，今のようなものに変えていったんじゃ。

ヤムいも

タロいも

とうもろこし

学習指導要領の内容(2)のア「人類が出現し・・変化していったことを理解させる。」および内容の取り扱い(1)ク「歴史的事象の指導に当たっては，地理的分野との連携・・，地理的条件にも・・」に示す内容を学習指導要領に示していない内容として扱っており，不適切である。

修　正　文

チャレンジ学習

人と作物とのかかわり

現在，世界の62億の人々が，さまざまなものを主食にして生活しています。これまで人々は，作物を作る農業に多くの力をそそぎ，たくさんの種類の作物を生み出してきました。ここでは，人と作物とのかかわりの歴史について，調べてみました。

人々が，作物の栽培を始める

東南アジアの人々は，野生のバナナを採集するうちに，種のない品種を見つけ出し，その木を家の近くに植えて育てていました。中国の黄地などで稲の栽培を始めた人々は，長い年月をかけて，種がいっせいに出そろうもの，風がふいても実の落ちないものを選びぬいて育てました。

こうして人々は，親から子へ，子から孫へと，何十代・何百代もかけて，野生の植物を人間が利用しやすい作物に変えていきました。

野生の稲

種の多いバナナ

ふだんみなさんが食べているバナナや，P.234の現在の稲の写真と比べてみよう。

修正内容　発展的な学習内容に該当しない「チャレンジ学習　人と作物とのかかわり」に変更する。

原　文

改良される作物

現在，世界で作られている作物の多くは，原産地から長い年月をかけて広まったものです。作物の原産地を調べ，今どのような地域で作られているのかを調べれば，人の移動の歴史を調べることにつながります。例えば，じゃがいもの原産地は南アメリカなので，コロンブスがアメリカに到達するまでは，他の地域では全く知られていなかったということになります。

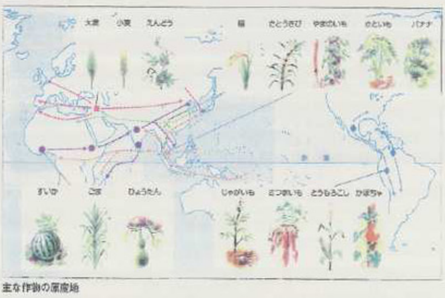
野生の稲

栽培されている稲

野生の小麦

栽培されている小麦

バナナの例のように，人は，作物を利用しやすいように改良しつづけてきたんじゃ。稲や麦も作り変えられてきたんじゃよ。野生のものと栽培されているものと，見比べてみよう。



主な作物の原産地

日本で作られてきた主な作物

作物には，食べる以外の目的で作られているものもあります。例えば，日本では，生活に役だつ7種類の植物を「四木三草」という言葉であらわしていました。

日本人の主食は米だが，麻・あわ・きび・豆なども古くから作られているんじゃ。そこで，「五穀豊穣」という言葉の意味を調べてみよう。

五穀

米（稲）　麦（小麦）　あわ　きび　豆（大豆）

※あわの代わりにひえを五穀に加えることもあります。

四木三草

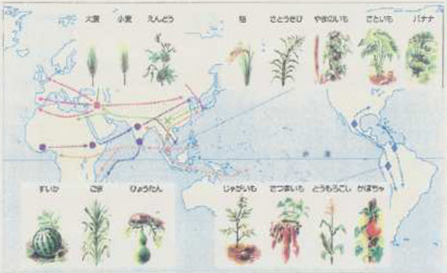
使う部分（　）　使う部分（　）　使う部分（　）　使う部分（　）
使い方（　）　使い方（　）　使い方（　）　使い方（　）

使う部分（　）　使う部分（　）　使う部分（　）
使い方（　）　使い方（　）　使い方（　）

そのほかに，木綿・なたね・い草などもちられていたんじゃ。それぞれの種類がどのようなことに使われていたのか，調べてみると面白いぞ。

最近，品種改良にも使われるようになったバイオテクノロジーとは，どのような技術で，どのようなことに役だつのかを調べてみましょう。

修　正　文



主な作物の原産地とその広がり（「栽培植物と農耕の起源」）

五穀

米（稲）　きび　あわ　麦（小麦）　豆（大豆）

※きびの代わりにひえを五穀に加えることもあります。

世界に広がる作物と五穀

現在，世界で作られている作物の多くは，原産地から長い年月をかけて広まったものです。作物の原産地を調べ，今どのような地域で作られているのかを調べると，人の移動や交流の歴史を知ることができます。

わたしたち日本人と作物とのかかわりはどのようなものだったのでしょうか。縄文時代の遺跡である三内丸山遺跡（青森県）の調査から，4000年以上前の人々が，くりを栽培して食用にしていたことがわかっています。※弥生時代以降，わたしたちの祖先は，※を栽培することでくらしをたててきましたが，特に重要な穀類を「五穀」とよんでいました。五穀は時代によって異なりますが，江戸時代では，おもに米・きび・あわ・麦・豆のことをさしました。これらの作物も，もとは海外から伝わったものであり，品種改良の努力を続けた結果，今に伝わっているのです。

江戸時代では，食用以外に生活に役だつ7種類の食物を，「四木三草」とよんでいました。それらがどのように使われていたのかを調べ，現在の製品と線と結んでみよう。

作物	どの部分をどのように使うのか	作物
茶	＿＿＿＿	
麻	＿＿＿＿	
桑	＿＿＿＿	
楮	＿＿＿＿	
紅花	＿＿＿＿	
麻	＿＿＿＿	
藍	＿＿＿＿	